

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：1/13～1/17

・ 1/15(月)

アメリカとイランなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題と考えられる場面は見られませんでした。

・ 1/16(火)

オーストラリアの森林火災に自衛隊が派遣、IR 疑惑、桜を見る会、両陛下が今春イギリスを訪問、イラン核合意などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、オーストラリアの森林火災に自衛隊が派遣、IR 疑惑、桜を見る会については検証者の所感を記しました。

・ 1/17(水)

河井夫妻が記者会見、小泉大臣の育休、明石市の泉市長の暴言、差別ツイートで東大特任教授を解任、ロシア首相が総辞職などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、河井夫妻が記者会見、および差別ツイートで東大特任教授を解任については検証者の所感を記しました。

・ 1/18(木)

政治とカネ、憲法改正、「桜を見る会」をめぐる諸問題などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の観点からは特に問題と考えられる場所は見られませんでした。

・ 1/19(金)

自衛隊中東派遣、政権支持率、政治とカネ、「桜を見る会」をめぐる諸問題、エネルギー政策などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の観点からは特に問題と考えられる場面は見られませんでした。なお、番組構成については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月13日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：アメリカとイラン		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マレーシアでバドミントン桃田選手が事故 ・ヘンリー王子夫妻がイギリス王室からの離脱宣言 ・成人の日 ・【異論反論】 #大人に言いたいこと ・ゴーン被告逃亡劇の映画化に意欲 ・台湾総統選 ・名城大学准教授刺傷事件 ・フィリピンで山火事 ・アメリカとイラン ・スポーツ報道 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカとイラン：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「続いて、混乱するイラン情勢です、アメリカとイランの間の緊張が一気に高まったのはトランプ大統領によるイラン革命防衛隊司令官の殺害の指示がきっかけでしたけれども、なぜトランプ大統領はこの司令官の殺害を指示したのか、その根拠が揺らいでいます。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「イランの首都、テヘランでおよそ1000人が集まり抗議デモが行われました。これまでアメリカに死をと声を上げてきたイラン国民ですが、今回怒りの矛先排卵の指導部に向きました。8日、テヘラン近郊で墜落したウクライナ旅客機。乗客乗員176人全員が死亡しました。当初イランは墜落の原因は技術的なトラブルとしていましたが、一転して誤って撃墜した、と認めたのです。」</p> <p>ホセイン・サラミ（イラン革命防衛隊司令官）「私は人生でこれほど恥じたことはありません。私もあの飛行機に乗っていて墜落し、彼らとともになくなりたいかった。」</p> <p>ナレ「イラン側は過ちを認め、謝罪。一方トランプ大統領は撃墜を非難するイラン国民を支持し、イラン政府が過剰な対応をしないよう牽制しました。」</p> <p>トランプ大統領（Twitter）「イランの指導者へ、抗議する指導者を殺すな。」</p> <p>"ナレ「対立が続くアメリカとイラン、緊張が一気に高まったきっかけは米によるイラン革命防衛隊、ソレイマニ司令官の殺害でした。」</p> <p>トランプ大統領「我々は非常に強い軍事力で相手を排除した。（相手の狙いは）4つの大使館だったと思う。」</p> <p>ナレ「殺害の理由についてトランプ大統領はソレイマニ司令官が4つのアメリカ大使館への攻撃を計画している</p>		

という情報があったため、殺害を急ぐ必要があったと説明しました。ところが、その殺害を正当化する情報を巡ってトランプ政権内で説明が食い違う事態が起きています。エスパー国防長官は。」

エスパー国防長官「大統領が言ったことはおそらく彼が信じていたことだ。私は4つの大使館については見ていない。」

ナレ「自身はイラン側の攻撃計画を把握していなかったと述べ、トランプ大統領の説明との食い違いが顕になりました。関係を一気に緊迫させたソレイマニ司令官殺害。その根拠となる情報は一体何だったのか。今後、アメリカ議会でも追及する声が高まりそうです。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「日本ではどうなのかと言いますとこちらJNNの世論調査なのですが、アメリカ軍によるソレイマニ司令官の殺害を支持するのかどうかという質問に対し76%の方が支持しないというふうに応えているんですね、少なくとも日本ではこのアメリカ軍の軍事行動を支持しない、支持が広がっていない、ということですね。」

星浩「そうですね、国際社会でもその根拠が曖昧だという批判は強いんですね、アメリカでもトランプさんは四箇所の大使館が危なかったと言いますが、エスパー長官は知らないって言ってまして、どうもエスパー長官のほうが冷静に見ているんじゃないかという評判のほうが強いようですよね。まあだいたいアメリカは何を持って防衛のために攻撃したのかっていう証拠を未だに示していないわけですし、まあウクライナ機を撃墜したイラン側にも責任ありますけれども根拠を示していないアメリカの責任も非常に大きいと思いますね。」

小川彩佳「この状況を招いてしまったわけですからね、そして折しも安倍総理が中東を訪問して今日もサウジ、サウジアラビアを訪問してますけれどもこの中乙の緊張緩和に向けた橋渡し役というのは務められるんでしょうか。」

星浩「そうですね、実はそのサウジとイランは4年前に国交を断絶しましてね、それがまあ緊張の一つになっているんですけど日本はたまたまサウジともイランとも良好な関係にあるものですからサウジの話聞いてイランに伝えるということでこの関係改善を進めればね、この中東の不安定な状況が少し改善するんじゃないかということがあって、こういうのはこう非常に地味な外交ですけども積み重ねをしていうことが非常に大事なことだと思いますね。」

小川彩佳「役割も大きいですね。」

このトピックに当てられた時間は293秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月14日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：オーストラリアの森林火災に自衛隊が派遣、IR 疑惑、桜を見る会 両陛下が今春イギリスを訪問、イラン核合意		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・【速報】 島根県出雲市で男が女性従業員を人質に立てこもり ・オーストラリアの森林火災に自衛隊が派遣 ・中国以外で初の新型ウィルス感染者がタイで確認される ・IR 疑惑 ・コンビニおでんと食品ロス ・バドミントンの桃田選手が明日帰国 ・桜を見る会 ・エリザベス女王がヘンリー王子らの離脱を認める ・両陛下が今春イギリスを訪問 ・イラン核合意 ・スポーツ報道 ・【異論反論】 #ゲームの時間制限 ・天気予報 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの森林火災に自衛隊が派遣：結論→特に問題なし 小川キャスターの「続いてお伝えするのはオーストラリアの山火事です、こちらおさまりません。4ヶ月で焼けた森林などの面積は韓国の国土の面積を上回る大きさに広がっているということです。各国は支援に乗り出しまして、日本の自衛隊もオーストラリアに向かうことになりました。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。 <p style="color: red;">"ナレ「目の前に火の手が迫る中、住民はカメラを回し続けました。」</p> <p style="color: red;">住民「あの日の塊を見ろ、ものすごく熱い。」</p> <p style="color: red;">ナレ「大規模な森林火災に見舞われているオーストラリア、3人の男性は火災から家と農場を守るため、自宅に残っていました。」</p> <p style="color: red;">住民A「燃えているぞ。」</p> <p style="color: red;">住民B「トイレに行きたい」</p> <p style="color: red;">住民A「下がれ、窓から離れろ」</p> <p style="color: red;">ナレ「炎は猛烈な勢いであたりを焼き尽くしていきます。これは、夜が明け、火災が収まったあとの様子です。庭にはトラックやトラクター、ブランコも。形はかろうじて残っているものの焼け焦げているのがわかります。オーストラリアの火災は既に発生から4ヶ月が立ちますが、依然として収まっていません、現地メディアにより</p>		

まずと今回の火災で死亡したのは少なくとも 28 人。2500 件以上の家屋が損壊しました。過去一ヶ月の火災の分布を示したものです、延焼範囲は韓国の面積を上回る 1120 万ヘクタールに及ぶということです、衛星画像で確認してみると火災による煙がおよそ 2000 キロ離れたニュージーランドまで流れているのがわかります。オークランドの空はオレンジ色に。野生動物の被害も深刻でコアラは数万匹が死んだと見られます、コアラが多く生息する街を訪ねました。ここにはコアラ専門の病院があり、今回の火災位よりやけどなどをした多くのコアラが治療を受けています。ヘリコプターから投下されているのは野生動物の餌用の人ンジンやさつまいもです、岩山にいるワラビーが投下された人参をかじっていました。被害拡大を受け、各国が支援に乗り出しています。アメリカやカナダなどが消防士や軍などを派遣、日本もオーストラリア政府の要請を受け、明日にも航空自衛隊の C130 輸送機 2 機を派遣することにしています。森林火災の対応で自衛隊が海外に派遣されるのははじめてです。自衛隊幹部はオーストラリア軍には東日本大震災の際、輸送支援をしてもらっており今回は恩返しの意味も込めて支援したい、としています。なぜ火災は拡大したのか。オーストラリアの気象庁は 9 日、去年の平均気温が観測史上最も高く降水量は過去最小だったと発表しています。専門家は主な原因としてオーストラリアで続いている異常な高温と乾燥だと説明しています。」

"串田圭司（日本大学・生物資源科学部教授（地球温暖化））「地球温暖化が極端な乾燥と極端な高温を頻繁にもたらすというふうなこともいわれておりまして、まあ乾燥すればですね燃え広がる仕方というのが非常に大きなものになります、高温でしたら火力が強くなる、地球温暖化がこうした未曾有の森林火災を引き起こしている、と言えると思います。」

ナレ「また、被害を拡大させた原因の一つにコアラの主食でガソリンツリーとも呼ばれるユーカリに油分が多いことも関係しているのではないかとされています、今回の火災で排出された温室効果ガスは日本で一年間に排出される温室効果ガスに匹敵するという専門家。現地の気象庁の予報では来月から 4 月にかけて平年並みの雨が期待できるとしています、ただ専門家は今回の森林火災のあとも大きなリスクが待っていると言います。」

串田圭司「地球温暖化というのはですね、極端な乾燥も起こしますが、極端な雨も引き起こすと、森林火災に続いて極端な大雨が起きますとですね土の中に肥料があるんですが、それが流されてしまうと、順調に回復しない、砂漠化とか生態系事態が回復できないという状態につながっていくかと思っています。」

このトピックに当てられた時間は 366 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ IR 疑惑：結論→特に問題なし

小川キャスターの「続いてのニュースに参ります。カジノを含む IR 統合型リゾート事業をめぐる汚職事件です。衆院議員の秋元司容疑者が新たな収賄の疑いで再逮捕されました。中国企業側から受け取ったとされる賄賂の総額は合わせておよそ 730 万円に登るとのことです。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

"秋元容疑者の Twitter（先月 19 日）「私は不正なことには全く関与しておりません。」

ナレ「こう主張していた秋元容疑者、今日、再逮捕されました。新たな容疑は那覇市で中国企業ファイブハンドレッドドットコム社が主催したシンポジウム、その講演料名目などで 2017 年 9 月に受け取った 200 万円、そしてもう一つは 2017 年 12 月に中国深センにあるファイブハンドレッドドットコム社の本社などを訪れた際の旅費およそ 150 万円、これらが利益供与に当たるとして新たに合わせておよそ 350 万円の賄賂を受け取った

疑いが持たれています。弁護人によると秋元容疑者は容疑を全面的に否認しているということです。」 "

"音声「秋元容疑者に現金 300 万円を渡した。」

ナレ「一回目の逮捕容疑となったファイブハンドレッド社側からの現金 300 万円の賄賂と、北海道への家族旅行の費用、およそ 76 万円分の負担、これで秋元容疑者が受け取ったとされる賄賂の総額はおよそ 730 万円に、今後の捜査のポイントは秋元容疑者が中国企業にどのような便宜を図っていたのかです。」 "

"秋元容疑者（先月 20 日）「IR 参入したいと思ってるに決まってるじゃん、彼ら、便宜を働きようがないでしょう、と。」

ナレ「逮捕前の取材でこう話していた秋元容疑者。」

音声「日本国内での IR の整備地域を五箇所に」

ナレ「中国企業側は 2018 年 3 月頃、IR 担当の副大臣を務めていた秋元容疑者に対して、国内での IR 整備地域を増やすよう要望していたことがわかっています。」 "

"石田祝稔（公明党政調会長、2018 年 3 月）「若干考え方がまだあの違いがありますので、どういうふうに関心形成していくのかしっかりと議論をしていきたいと思っています。」

ナレ「ちょうどそのころ与党内ではカジノの整備に関する IR 実施法案の提出に向けた議論が行われていました。最大の焦点である IR 整備区域の数について依存症などを懸念して全国で 2~3 箇所に制限すべきという公明党と、4~5 箇所にすべきという自民党とで意見が対立していたのです。特捜部は秋元容疑者が中国企業が IR に参入しやすくなるよう便宜を図ろうとしていた可能性も視野に操作を進めています。」 "

このトピックに当てられた時間は 215 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・桜を見る会：結論→特に問題なし

小川キャスターの「続いて、桜を見る会についてです、招待者名簿の管理が違法だったと政府が認めましたが、となると廃棄したと説明されてきたこの名簿もひょっとするとどこかに存在するんじゃないか、そんな疑惑もくすぶりますが、菅官房長官は今日改めてこの名簿の再調査はしない、と強調しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"記者「名簿がまだ残されているという可能性についてはどういうふうにご検討されているのでしょうか、調査は行わないのでしょうか。」

菅義偉（内閣官房長官）「できるだけ、精査して対応しているということでありまして。」

ナレ「政府が廃棄したと説明している桜を見る会の招待者名簿、マルチ商法の元会長を招待したのは誰だったのか、それは総理様だったのか。こうした疑惑解明の鍵をめぐる名簿をめぐり違法な対応があったことを政府が認めました。保存期間位置年以上の文書についてファイル管理簿に記載することが法律で義務づけられています。が、2013 年から 2017 年にかけての招待者名簿は記載がありませんでした。、更に文書を廃棄する場合、総理大臣の同意を得る必要がありますが協議は行われておらず、廃棄簿にも記載がありませんでした、これらは公文書管理法やガイドラインに違反しています、先月安倍総理は。」

安倍総理「内閣府が予め定められた手続きに則って適正に廃棄をしているところであります。」

ナレ「適正に廃棄していると強調しました。」 "

"山井和則（「立国社」会派衆院議員）「安倍総理は記者会見で虚偽の説明をされたということですか。」

酒田元洋（内閣府大臣官房総務課長）「会見に付きまして、そこはですね、今年の名簿に付きまして適切に対応していたと、廃棄をしていたということだったのではないかというふうに思っています。」

山井和則「いや、そんなことはないでしょ、菅官房長官も含めて適切に管理し、適切に廃棄したと言っているじゃないですか。」

酒田元洋「その点につきましては平成 31 年、昨年ですね、直近の会、それからその前の会、それについてきちんと対応していたということです。」

"ナレ「違法な管理が判明した招待者名簿、廃棄したとされた名簿が存在する可能性はないのでしょうか。」

菅官房長官「これまでの調査で既に廃棄したということであり、再調査は考えておりません。」

ナレ「再調査については改めて否定、違法な対応が続いていた理由については」

菅官房長官「23 年と 24 年に記載すべきことを記載していなかったのです、これ、民主党政権ですけれども、ですからそれを引き継いでいたということだと思います。」

ナレ「菅官房長官は 2011 年 2012 年から違法状態であり取り扱いが前例として漫然と引き継がれていたと釈明しました。ただ 2011 年と 2012 年の桜を見る会について当時の民主党政権は東日本大震災や北朝鮮のミサイル対応のために 2 年とも中止しており、菅氏の説明に野党側は反発を強めています。」

VTR を受けて以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「桜を見る会の招待者名簿の管理が違法だった、その理由について菅官房長官はこれまで、事務的な記載漏れ、というふうにしていたんですが、今日は更に民主党政権だった 2011 年 2012 年を前例を引き継いだ、踏襲したんだと、こういう説明を加えましたね。」

星浩「まあ 11 年と 12 年はそれぞれ中止になっていますからね、あんまりこの二つと比較すること自体があまり妥当ではないと思いますし、そもそも今回桜を見る会の問題は安倍政権になってからものすごく招待車が増えまして、安倍総理の後援会のメンバーがどっと押し寄せてきたというところが問題なのであって、民主党云々というのはやめたほうがいいかもしれないですね。」

小川彩佳「いずれにしても招待者名簿の違法な管理を認めたわけですからその責任はどこに合ったのかということをしつかり有耶無耶にせず明らかにしていただきたいなというふうに思いますし、まあでもそうした中でも菅官房長官は招待者名簿の再調査はしないというふうに今日も改めて強調したわけですけれども、」

星浩「そうですね、まあ森友加計問題のときも無いと言っていた文書が突然出てきたりするので、今回ももしかしたら名簿が出てくる可能性があるわけですけれども、まあ菅長官はですね 13 年以降の名簿について一回登録もしていなかったということ、それから廃棄するときも記載していなかったということ、これ違法だったと認めているわけですね。違法だったということをも認めたということは誰がどういうことでそういう違法をしたのか、どういう責任があるのかということをも処分しなければいけないわけでこれはおそらく国会の最大の問題点になってくると思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 316 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・両陛下が今春イギリスを訪問：結論→特に問題なし

ナレ「天皇皇后両陛下が今年春、国賓としてイギリスを訪問されることになりました。4 月から 6 月の間に出

発しロンドン近郊のウィンザー城に滞在されるということです。即位後の外国訪問はこれが初めてです。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 20 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・イラン核合意：結論→特になし

ナレーションによって「イギリス、フランス、ドイツの三カ国は 14 日、イランが核合意の義務を果たしておらず、残された選択肢はない、として国連による制裁の再開につながる紛争解決手続に踏み切りました。イランが 5 日、合意の制限を超えてウラン濃縮を進める方針を表明したため、今後、協議で解決できなければ、国連安保理での協議を経て、制裁が再開される運びです、三カ国はこの措置について合意を維持するため、と強調しますが、イランへの圧力が更に強まった形です。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 42 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・オーストラリアの森林火災に自衛隊が派遣

ナレーションは「森林火災の対応で自衛隊が海外に派遣されるのははじめて」と伝えていた。こうした自衛隊による初めての試みについては大体の場合において、反対する政治勢力というのが出てくるのがこれまでの戦後日本政治の常であったが、今回はどうだったのだろうか、気になるところである。

・IR 法案

ナレーションはカジノを解禁される箇所が公明党の主張する 2～3 箇所か自民党の主張する 4～箇所かで本容疑者が便宜を図ろうとした、などと伝えているが、「依存症などの懸念」という理由のもとで全国的には禁止しておきながら解禁される一部地域を制限しようという発想そのものが便宜供与の温床となつたのではないだろうか。中央政府のスタンスが全面解禁で、依存症などの懸念を理由に禁止するかしないかを地方自治体サイドに委ねておけば、中国企業側としてもわざわざ贈賄などをする必要はなく、カジノを解禁するという選択をした自治体で堂々と参入すれば済んだ話である。しかし、こうした視点からの議論は今のところ全く出てきていないのが非常に残念である。カジノ解禁が便宜供与であるならば、この解禁の対象地域とならないように働きかけるといっても同様の話が成り立ちうるだろう。いずれにしても政治や行政の裁量に委ねられているからこうした問題が起きているのだという視点が欠如してはいないだろうか。

・桜を見る会

星キャスターは「森友加計問題のときも無いと言っていた文書が突然出てきたりするので、今回ももしかしたら名簿が出てくる可能性があるわけですけれども」とコメントしていたが、そもそも「無い」と言っていたにも

NEWS23 週刊報告 詳細版

かかわらず出てきた文書というのはどういうルートで出てきたのだろうか。文書を違法に処分することも問題であるが、違法であれ適法であれ処分したと言っている文書があとになって出てくる、というのもそれはそれで情報管理・情報の保護という観点から問題であって、「違法に処分された文書が実は残っていてよかったですね」という話でもないだろう。違法に処分された文書が実は残っていた、ということが起こるといことは保管年限を過ぎて適切に処分された文書が実は残っている、ということも同様に起こりうるのだということについても危機感を抱いてほしい。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月15日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 益子直美（元女子バレーボール日本代表）</p>		
<p>検証テーマ：河井夫妻が記者会見、小泉大臣の育休、明石市の泉市長の暴言 差別ツイートで東大特任教授を解任、ロシア首相が総辞職</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河井夫妻が記者会見 ・桃田選手が帰国 ・小泉大臣の育休 ・明石市の泉市長の暴言 ・指導者が選手に絶対に起こってはいけない大会 ・芥川賞と直木賞 ・ゴーン夫妻がレバノンでインタビューを受ける ・島根県出雲市の立てこもり男を逮捕 ・中国の肺炎 ・差別ツイートで東大特任教授を解任 ・ロシア首相が総辞職 ・スポーツ報道 ・【異論反論】#カチンときた時 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河井夫妻が記者会見：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「まずお伝えしますのは夜になって動いたこちらのニュースからです。疑惑が浮上してから2ヶ月あまり、雲隠れを続けてきた河井克行前法務大臣と妻の杏里参院議員がつい先程取材に応じました。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「今夜、10時過ぎ、急遽設定された会見。河井克行前法務大臣と妻の河井杏里参院議員、2人はおよそ二ヶ月ぶりにマスコミに姿を見せました。」</p> <p>河井克行（前法相）「地元の皆様、有権者の皆様そして支援者支持者の皆様にはたいへんご心配、ご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫びを申し上げたいと存じます。捜査には全面的に協力をいたします、そして当局からの協力要請に真摯に対応いたします。説明、協力をしっかりとこれから行って参る所存であります。」</p> <p>記者「妻のあんり議員がウグイス嬢に関わることで公選法違反の疑いがあります、それに関して事実関係について代議士どのように考えていますか。」</p> <p>河井克行「まあこのことにつきましては、あの、もう既に刑事事件として捜査が始まっておりますので、私からコメントを申し上げることは控えさせていただきたいと存じます。」"</p>		

"ナレ「一方、妻の案里議員は、」

河井案里（参院議員）「捜査を着実に進めていただけるよう全面的に協力をしていく、そのつもりでございます。」

ナレ「自らに降り掛かった疑惑にどう応えたのでしょうか。」 "

テロップ「”雲隠れ” 夫妻緊急会見」

"小林康秀（報告）「広島地検の係官が段ボール箱と、それから梱包材を持って事務所の中に入っていきます。」

ナレ「広島地検は今日午前から河井夫妻のそれぞれの地元事務所や自宅に家宅捜索に入っていました。容疑は公職選挙法違反の疑い、去年7月の参議院選挙の歳、案里氏の陣営がウグイス嬢と言われる選挙スタッフが法定の上限1万5000円の2倍に当たる三万円の報酬を支払ったなどの疑いがあるのです、疑惑浮上後克行議員は法務大臣を辞任。二人とも説明責任を果たすとしてしましたが、その後二ヶ月以上に渡り、雲隠れ状態になっていました。克行議員は公選法違反について操作に支障が出るため、コメントを控えるとして説明をしませんでした。」

河井克行「説明をさせていただきたい気持ちはもちろん、ございます。ございますけれど、本当に、誠に心苦しい、心苦しい限りでありますけれども、どうぞご理解をいただきたいと存じます。」 "

"ナレ「国会を長期間欠席した理由については」

河井克行「国会審議に支障をきたすことがあってはいけなと、そう考えて国会を欠席を致しました。更に加えて既に診断書が出ております妻の療養にも付き添っておりました。」

記者「離党や議員辞職の考えはございますでしょうか。」

河井克行「まずは捜査に全面的に協力をするということが繰り返しになりますけれども、今一番大事なことだろうと考えておまして、今おっしゃったそのようなことは考えておりません、通常国会には出席をして国会議員としての責務を果たしていきたいと。」

ナレ「一方、案里議員は。」

河井案里「私を信頼していただき、一票一票を投じてくださった皆様の信頼を今こうしてなかなか自分の言葉でも、また、皆様の信頼にお答えをするための言葉を紡ぐことは出来ない状態にございます・捜査の妨げになるようなことをすることが今できないことを大変、心苦しく思っております。」

記者「自民党を離党する考えもしくは議員を辞職する考えなどございますでしょうか。」

河井案里「皆様方には本当にご心配をおかけをして誠に申し訳なく思っておりますけれども、今、そのような考えはございません。とにかくしっかりと事実を明らかにしていくために捜査機関に協力をして参る所存でございます。」

ナレ「ふたりとも離党と議員辞職は否定しました。」 "

VTRを受けて以下に朱記したようなやり取りがスタジオで繰り返された。

小川彩佳「河井前大臣、そして案里議員揃ってふたりとも疑惑については刑事事件で捜査中のため、説明は差し控える、この一点張りでしたよね。」

星浩「そうですね、捜査に協力するって言ってましたけれども、捜査に協力するのは当たり前の話でして、政治家、国会議員にはですね、刑事事件とは別に政治責任がありまして、それは説明をするということですけども、説明する責任を果たしていないということですね。」

小川彩佳「説明責任を果たしていない。」

星浩「ということでした、これでは何のために取材に応じたのかということになりまして、逆効果だったと思

ますね、今晚の対応は。」

小川彩佳「切り離して説明ができるわけですからね、そして離党や議員辞職は考えていない、ということでしたけれども。」

星浩「これから刑事的にはですね、おそらく選挙違反に二人がどう関わってきたかというのは最大のポイントになってくると思うんですね、一方国会が始まると野党の追及は必至でもうこれは離党したほうがいいんじゃないかという声が出ているくらいなので、これは相当揉めてくると思いますね。一方自民党幹部によりますと経済産業大臣を政治とカネの問題でやめた菅原一秀さんも記者対応に応じるというんですけれどもこれも合わせて自民党がどういうふうに対応してくるのか、国会が始まる前に非常に紛糾する気配ですね。」

小川彩佳「うーん、中身のある説明があると望ましいけれどね。」

このトピックに当てられた時間は 430 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・小泉大臣の育休：結論→特に問題なし

小川キャスターの「次参ります、相当悩んだ末のこちら、決断だったのです。」とのコメント、山本キャスターの「小泉環境大臣がきょう、現役閣僚としては異例の育児休暇取得を宣言しました。自民党内などからは批判的な声もある中であえて取得に踏み切るのはなぜなのでしょう。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"小泉進次郎（環境相）「どのような形で取得をするのか、正直とても悩みました、業務に支障がないように通算二週間育休を取得したいと考えております。」

ナレ「小泉大臣がついに、育休取得宣言です。今月中にも第一子を出産する予定の妻、滝川クリステルさん、出産後 3 ヶ月の間に合わせて 2 週間の育児休暇を確保することを明らかにしました。」

"女性 A「まだ会社で育休を取る男性って本当に少ないので、いいことだともいます。」

男性 B 男はもっと大臣の仕事をしてほしいっていうのは本音ですけどね。」

女性 C「もっとちゃんとしっかり休むべきかなって、おもいますね、なんか中途半端かな。」

ナレ「実現すれば現職閣僚では初めてと見られる育休取得。小泉大臣は時短勤務やテレワークなども利用し、資料確認をメールで行ったり打ち合わせをテレビ会議で行ったりする考えです。公務や危機管理を優先するという条件で、国会や閣議などには出席するという事です。政界では賛成の声が上がる一方でパフォーマンスだという冷ややかな見方も。」

自民党幹部「政治家は苦しいことや厳しいことを進んでやるところに価値がある。政治家が育休を取るなんていうのは」

ナレ「賛否両論がある中でなぜ育休取得を踏み切ったのか、背景にあるのは 6.16%と低迷している男性の育休取得率です。」

小泉進次郎「制度だけではなくて空気を変えていかなければ、それを取得する公務員も増えていかないだろう。」

ナレ「自分の育休をきっかけに空気を変えたいという小泉大臣、その考え方に影響を与えたイクメンの先輩がいます。今朝もメールで連絡を取り合ったと言います。」

"

"鈴木英敬（三重県知事、二児の父）「大臣からは二週間の中でどんなことをやるかというのについてはまずはお

風呂登板です、と。」

ナレ「三重県知事で二児の父親でもある鈴木英敬氏、45歳です。八年前、当時の自治体トップでは珍しく在職中に育休を取得されました。」

鈴木英敬「入閣される日の朝、ご自身も育休を検討されていたということで、知事はどうやっておたられたんですか。」

ナレ「鈴木知事の育休はまる二日の休暇と午前級を三会、合わせて3日版という短いものでした、しかしある劇的な変化が。」

村瀬健介（報告）「こちら、三重県庁では知事が育休を取得したあと、男性職員の育休取得率が一気に跳ね上がったといいます、」

ナレ「それまで5%前後だった男性の育休取得率は鈴木知事の育休後急増示唆k年度はおよそ37%に。」

村瀬健介「ごめんなさい、この中で育休を取られた方はどれくらいいらっしゃるかちょっと手を上げていただけますか。四人、」

三重県職員 A「ぜひ取るべきだとかですね、まあそういう雰囲気があったので取らせていただいた。やっぱり不二期がないと難しい。」

三重県職員 B「自分、3回とっているんですけども10年前のときは手続きをするその担当の方も男性の育休ってどうやってするんだっけ、っていう幹事でしたけれども知事が率先して男性の育児なんかを応援してくれるっていう雰囲気が職場に伝わっていたので。」 "

"ナレ「賛否の声が上がる小泉大臣の育休取得ですが、鈴木知事は期待感を示しています。」

鈴木英敬「自分が、取る前に制度を変えろよという批判をする人もいらっしゃると思うんですけども、風土や空気も変えることにチャレンジをしたということですから、これはね、やっぱり大事なことだと思います。」

ナレ「男性の育休が進むきっかけとなるのでしょうか。」 "

このトピックに当てられた時間は296秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・明石市の泉市長の暴言：結論→特に問題なし

小川キャスターの「さて、次です、一年前過去の暴言が発覚し辞職した兵庫県明石市の泉市長が再び暴言を放ったとして謝罪に追い込まれました。怒りをコントロールするアンガーマネジメントのトレーニングを行ってきたというこの市長なんですが、再びかっときてしまったようです。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"泉房穂（明石市長）「明石市の皆さまを始め、本当に申し訳ないと改めてお詫び申し上げます。」

ナレ「兵庫県明石市の泉房穂市長、一昨日市議会議員と口論になり、こんな暴言を浴びせたそうです。」

泉房穂「やめてまえの5文字は言ったという認識はあります、かちんと来て口走ってしまったという感じです。」

ナレ「当時は新年会が行われていて、泉市長は十数人とテーブルを囲んでいました。そこへ市議が酒を注ぎにやってきて2001年の事故後、中止されている夏祭りの再開を迫ると市長が暴言を浴びせたと言います。」

泉房穂「ご遺族がおられるまさに大きな事故でのお話ですので、軽々に市長としてすぐにどうこう決めれるテーマではないと。」 "

"ナレ「暴言を吐かれた市議は。」

石井宏法（明石市議）「少し大きい声で、声を荒げる感じではありましたよ、僕の方も無茶苦茶生意気なところがあったのかもしれませんが。」

ナレ「泉市長は直後に謝罪し、両者は既に和解していると言いますが、市長の暴言が問題となったのはこれが初めてではありません。」

"泉房穂（2017年録音された音声）「立ち退きさせて来いお前らで、今日火をつけてこい、今日火をつけて捕まえてこい、お前、燃やしてしまえ。」

ナレ「去年、市の職員に暴言を吐いていたことが発覚、国道の拡幅工事に伴う立ち退き交渉がうまくいっていないことに怒りが抑えきれなかったのです。」

泉房穂（2017年録音された音声）「7年間、何しとんねん、お前、ふざけんな。」

ナレ「こうした暴言の発覚後、泉市長は辞職。翌月の出直し選挙では、全体の7割もの票を集めて当選しましたが、市には6000万円以上の費用がかかりました。」

泉房穂「時に言葉を荒げたり、自らの感情の赴くままに対応してきたことにつき、本当に申し訳ありませんでした。」

ナレ「今回、いわば同じ過ちを繰り返したわけですが、地元市民の反応は。」

"明石市皆 A「市長も人間だと思うので、それくらいはあってええんちゃうかな。」

明石市民 B「子育て世代には政策すごい頑張ってもらっているのすごい良い市長やなど。」

ナレ「中学卒業までの医療費無償化などの子育て支援政策によって明石市の人口は増加。泉市長も去年からは怒りのコントロールを学ぶアンガーマネジメントを受講し、腹が立ってもその状況を乗り越えることに頭を切り替える方法などを学んだと言います g。」

泉房穂「怒ると言うことが減ってきたと思います。感情的になった時に不適切な発言をしないように改めてしっかりと対応していきたい。」

このトピックに当てられた時間は 236 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・差別ツイートで東大特任教授を解任：結論→特に問題なし

ナレーションによって「Twitter に差別的な投稿をしたとして東京大学大学院の大沢翔平特任准教授が懲戒解雇されました。大沢氏は自分の携わる会社について Twitter に中国人は採用しません、などと書き込み、不適切だと言った指摘がネット上などで相次いでいました。東大は誠に遺憾ですとコメントしていますが、大沢氏は処分は不当だ、などと Twitter に投稿しています。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 32 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ロシア首相が総辞職：結論→特に問題なし

ナレーションによって「ここで速報です。つい先程、ロシアのメドベージェフ首相が内閣を総辞職することを発表しました。この発表に先立つ年次報告の中でプーチン大統領は憲法を修正し政府や議会などの権限を改めると発表しました。メドベージェフ首相はこの改革を助けるため、今回の総辞職を決定したということです。今後、メドベージェフ首相は別のポストに移行する他、現在の重要閣僚が残留するかどうかが焦点です。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 38 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

・河井夫妻が記者会見

スタジオで星キャスターが「そうですね、捜査に協力するって言ってましたけれども、捜査に協力するのは当たり前の話でして、政治家、国会議員にはですね、刑事事件とは別に政治責任がありまして、それは説明をするということですけども、説明する責任を果たしていないということですね。」とコメントしていたが、政治家の政治的責任というのはまさしく国民、具体的には有権者に対して負っているものであって、単に総務省から放送免許を与えられていること以外にその地位の根拠を持たず民主的信用に基づかないテレビメディアの立場でどうこう言えるものではないだろう。

確かに政治的責任の果たし方として説明するというのはあるだろうが、結局の所、政治家の政治的責任がどうなのか、というのは次の選挙で示されるものであり、それを外野から「責任は果たされた」だとか「いや、まだ果たされていない」などと評するのはいささか傲慢に過ぎやしないだろうか。

・差別ツイートで東大特任教授を解任

「自分の携わる会社について Twitter に中国人は採用しません」などと書き込んだことに対して、ネット上で「不適切」だといった指摘が相次ぎ、この書き込みについては「差別的な投稿をした」と認識した上で懲戒解雇したとのことだが、これは外国人と一般化したのではなく「中国人」と具体的に指したのが問題だったのだろうか、それとも「外国人は採用しません」としたのが問題だったのだろうか。

ところで、日本には外資規制というものがあるが、これは「外国人株主は一定割合以上は認めません」というものであるが、そうしたものについてはどのように考えているのだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月16日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：政治とカネ、憲法改正、「桜を見る会」をめぐる諸問題		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型肺炎、国内で初確認 ・ 陸上長距離で好記録連発のナイキ社厚底シューズ、世界陸連が使用禁止を検討 ・ 河井夫妻、昨年10月以来の会見も地元有権者や与党内からも厳しい反応 ・ 憲法改正を巡って与党内にも温度差 ・ 国会に提出された「桜を見る会」推薦者名簿について白塗りが発覚 ・ 大規模森林火災が続くオーストラリアで航空自衛隊が支援活動開始 ・ ヘンリー王子「離脱表明」後、初公務を行う ・ 園児ら16人死傷の事件、異例の判決延期 ・ スポーツ報道 ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政治とカネ→結論：問題なし <p>小川キャスターの「昨日1か月半ぶりに公の場に姿を現した河井克行前法務大臣と妻の案里参院議員です。」、山本キャスターの「捜査中を理由に、一連の疑惑について何も答えなかったことを地元や与党内からも厳しい声が挙がっています」との各コメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>ナレーター「怒りや失望の声は夫妻の地元からも聞こえてきます」</p> <p>地元有権者「辞任が当たり前だと思っていたので、(辞任は)ないんだ?と思いました」</p> <p>地元有権者「何も肝心なことは一つも言っていない。説明責任にも何ともなりませんよね」</p> <p>地元有権者「働かずしてボーナス貰っていけないですよ」</p> <p>ナレーター「自民党の河井前法務大臣と妻の案里議員を巡る疑惑。昨日2人は緊急会見を開きましたが、疑惑についての説明はありませんでした。」</p> <p>記者「国会議員を続けるというのはどのような思いで続けるのでしょうか」</p> <p>河井案里氏(参院議員)「日本を変えたいからです」</p> <p>ナレーター「去年7月の参議院選挙の際に、案里氏の陣営が選挙スタッフに対して上限を超える報酬を支払った公職選挙法違反の疑いで広島地検は2人の事務所などを捜索しました。」</p> <p>河井克行氏(衆院議員)「説明責任を果たしていく決意であります。」</p> <p>ナレーター「説明責任を果たすとしながら、10月下旬以降いわば雲隠れ状態となっていた林夫妻。地元広島からも説明を求める声が挙がっていました」</p> <p>地元有権者「わしゃ、河井をずっと応援してきたが、一体どういうことなんか説明せよ」</p> <p>ナレーター「案里氏は県議時代に政治とカネの問題があった当時の知事に対して」</p>		

河井案里氏「男らしくしなさいよ。私がおもひ広島県知事でしたら辞職をしています。男らしくしなさい」

ナレーター「その案里氏、雲隠れから2か月半、ようやく昨日取材に応じたのです」

河井案里氏「私的に調査をして参りました。事務所としても調査をして参りましたが告発が為されたために、現在調査の状況についてはお答えを差し控えさせていただきますと思います」

記者「法外な報酬を出したか否かについては」

河井案里氏「捜査機関による捜査に全てをお委ねして、判断をしていただきたいと思います」

記者「根も葉もないことなのでしょうか」

河井案里氏「しっかりと捜査機関で捜査をしていただくということです」

記者「コメントを差し控えるというのなら何のために改めて出てこられたのでしょうか」

河井案里氏「今回捜査が入ったということで、大変地元の皆様が不安に感じているかと存じましたので」

ナレーター「一連の疑惑については、捜査中を理由に何も答えませんでした」

記者「国会で説明する気も今のところ無いということでしょうか」

河井案里氏「捜査機関の厳正な捜査が最も客観的であると私は考えております」

ナレーター「夫の河井克行法務大臣も」

記者「潔白なら潔白と言った方がよいと思いますが、言えないということは何か思うところがあるのでしょうか」

河井克行氏「すでに刑事事件として捜査が始まっています。まずは捜査に全面的に協力すると」

ナレーター「事実関係を話すことが捜査に支障をきたすのでしょうか。元東京地検特捜部副部長の若狭氏は」

若狭勝氏（弁護士、元東京地検特捜部副部長）「任意の取り調べもない時点で検察の方から何も言わないでと伝えることはまずないです。捜査に支障が及ぶというのは何も説明しないことの理由付け、逃げ口上というような色彩が強いのではないかと思います」

ナレーター「与党内からも厳しい声が。「説明するのが遅い、そして何の説明にもなっていない」「捜査が入っていることを理由に説明責任から逃れている」

ナレーター「案里氏の選挙応援には、安倍総理や菅官房長官の姿もありましたが」

菅義偉氏（官房長官）「国会議員として、それぞれご自身の判断で説明責任を果たす問題だと考えています」

このトピックに当てられた時間は300秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・憲法改正→結論：問題なし

以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレーター「一方、来週から始まる国会に向け、憲法改正では与党のなかで温度差が浮き彫りに」

安倍晋三氏（首相）「時代にそぐわない部分は改正を行っていくべきではないでしょうか。その最たるものが憲法第9条です」

ナレーター「今夜、自民党の会合で憲法9条への自衛隊の明記について改めて意欲を示した安倍総理。一方、公明党の山口代表は安倍総理の姿勢について問われると」

山口那津男氏（公明党代表）「憲法のどこに総理大臣が憲法の発議をしたり、採決をしたり、そういうことが書いてあるのでしょうか。発議権は国会にしかないですね」

ナレーター「安倍総理にくぎを刺した格好です。」

このトピックに当てられた時間は 55 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・「桜を見る会」をめぐる諸問題→結論：問題なし

小川キャスターの「そして「桜を見る会」を巡っては、政府は推薦者名簿の原本には記載されていたある部分を加工して国会に提出していたことが判りました」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

蓮舫氏（立憲民主党参院幹事長）「人事課長と参事官のたった 2 人の判断で白塗りをしたという説明でした」

ナレーター「いったい何を白塗りで隠したのでしょうか。内閣府が去年 11 月に国会に提出した「桜を見る会」の推薦者名簿。そこには本来書かれていた「内閣官房総務官室総理大臣官邸事務所」という推薦部局が消されていたのです」

菅義偉氏（官房長官）「極めて不適切な行為であったと思います」

ナレーター「政府は今日改めて修正前の推薦者名簿を提出しました。ではなぜ部局名を隠したのでしょうか」

酒田元洋氏（内閣官房総務課長）「内閣府人事課として推薦することとした。このままだと官邸事務所から推薦をしたと見えてしまうということで、そこは適切ではないと考えたと」

ナレーター「内閣総務官室は総理などの招待者を取りまとめる部署で、当時国会では総理が誰を招待したのかを追及されていました」

大西証史氏（内閣審議官）「内閣府総務官室が取りまとめた名簿についても、桜を見る会が開催された後は速やかに廃棄をする」

ナレーター「内閣総務官室の名簿は既に廃棄したと答弁した 2 日後、部局名が白塗りの名簿が国会に提出されたのです。野党は答弁とつじつまを合わせるために部局名を隠したのではと追及します」

森裕子氏（参院議員、国民民主党）「白塗りにしなかったら「対象のものは廃棄しておりません」という答弁と矛盾することになりますよね。整合しますか」

酒田氏「整合します。官邸事務所では廃棄していましたが、11 月 22 日の時点で内閣府人事課は 1 年文書として保存していたので矛盾しない」

ナレーター「これまで政府が廃棄していたと主張した文書が別の場所から出てきたこととなります。一連の疑惑解明にかかわる招待者名簿なども他の場所に保存されている可能性はあるのでしょうか。一方、今回の白塗りが公文書の改ざんにあたるのかを巡っては」

白真勲氏（参院議員、立憲民主党）「森友加計問題では文書が白く塗られていたことはあったわけですね。その時の総理答弁は「改ざんと言われてもしょうがない」ということで関係者が処分されたかと思います。これはやっぱり改ざんなんじゃないですか、修正ではありませんよね」

酒田氏「改ざんの言葉の正確な定義は承知しておりません。いずれにしても今回の対応は極めて不適切であったと」

VTR を受けて、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

小川キャスター「今回問題となったのはこちらですね。推薦者名簿について政府は「官邸事務所では廃棄していたが、内閣府の人事課では保存していた」からこんなことになったと釈明していますが、廃棄したものが出て

きたわけですから今回問題になった招待者名簿についても廃棄したとは言っていますがどこかに残っているのかなど」

星キャスター「今回わかったのは、部署によって保存期間が違うということですよね。ですから、廃棄したとは言ってもどこかにあるかもしれないので、これはもう探す努力をしてもらいたいと思いますね。今回の招待者名簿については、名簿を登録しなかったり、捨てたのに記録を残してなかったり、明らかに違法行為が発生していて、これについて違法行為は責任の追及と処分は避けられないということですね」

小川キャスター「来週から「桜を見る会」をめぐる問題にもなるでしょう、こちらの通常国会ですけれども、先ほどお伝えしました河井前大臣夫妻の「政治とカネ」の問題ですとか、憲法改正の問題、「桜を見る会」の問題、そしてカジノ汚職、色々な問題が論点になるでしょうが」

星キャスター「そうですね、「政治とカネ」をめぐるのは河井夫妻の問題とそれから菅原前経産大臣は会見する予定だったのがそれを見送ってまして全然説明していないと、これは問題ですよ。一方、憲法改正については公明党の山口代表は今日「憲法改正の発議権は国会にある」と言っていましたね、憲法改正の発議権は安倍総理にあるわけではありませんよと安倍総理の姿勢にくぎを刺したわけですが、これはある意味では安倍総理主導の憲法改正の動きにくぎを刺したと、公明党として距離を置くというスタンスを明確にしたと、これも一つテーマになると思いますが、解散総選挙が見えてきてますから、公明党としても憲法改正を掲げて戦うというのは困るという意思表示でもありまして、この4つの問題を中心に国会は相当荒れ模様になると思いますね」

このトピックに当てられた時間は330秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感
特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月17日
出演者：田原総一郎、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：自衛隊中東派遣、政権支持率、政治とカネ、「桜を見る会」をめぐる諸問題、エネルギー政策		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心でも積雪の可能性、明日開催のセンター試験への影響は？ ・スポーツ報道 ・天気予報 ・自衛隊中東派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・武力攻撃に対して備えは万全か？ ・政権支持率 <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ「桜」「カジノ」にも安定の支持率 ・阪神淡路大震災から 25 年、鎮魂の祈り ・2019 年の中国 GDP 成長率+6.1%、29 年ぶりの低水準 ・政治とカネ <ul style="list-style-type: none"> ・広島地検、公選法違反の疑いの河井案里参院議員の秘書から任意事情聴取 ・スポーツ情報 ・「桜を見る会」をめぐる諸問題 <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府、公文書管理をめぐる歴代の人事課長 6 名に厳重注意処分 ・エネルギー政策 <ul style="list-style-type: none"> ・高裁が伊方原発の運転差し止め ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊中東派遣→結論：問題なし <p>小川キャスターの「続いては中東地域への海上自衛隊の派遣についてです。」、山本キャスターの「依然として不安定な状況が続く中東、自衛隊が危険に晒されたときはどうするのか、そのリスクが国会で審議されました」との各コメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>本多平直氏（衆院議員、立憲民主党）「恐れていたことが起きて、派遣について検討ぐらい行われると思ったら、国家安全保障会議も開かないまま総理大臣が勝手に記者会見で続行を表明する、本当に大問題だと」</p> <p>ナレーター「野党議員が指摘した「恐れていたこと」とは？政府が自衛隊の中東派遣を決めたのは昨年末のこと。しかしアメリカはイラン革命防衛隊の司令官を殺害。これをきっかけに中東地域の緊張が高まったのです。にも関わらず、政府は自衛隊の派遣決定を覆すことはありませんでした」</p> <p>本多氏「世界中から固唾を呑んでるときに、河野防衛大臣だけは（事態が）エスカレートしないという認識があったのですか。」</p> <p>河野太郎氏（防衛相）「絶対に今後エスカレーションしないとは 100%断言しませんが、これ以上エスカレーションしないというのが現在の状況判断」</p>		

ナレーター「そもそも、緊迫の中東へ自衛隊をどのような目的で派遣するのか、安倍総理はこのように説明していました」

安倍晋三氏（首相）「情報収集体制を強化するために、この地域に自衛隊を派遣し、日本関係船舶の航行の安全を確保していきます」

ナレーター「今回自衛隊が派遣される名目は、防衛省設置法に基づく「調査・研究」、正当防衛以外では武器は使用できません。タンカーなどの日本船舶が危険に晒されても、防護することはできません。仮にそういった事態が起きた場合、任務を海上警備行動に切り替え、限定的な武器の使用を可能にするとしています。ただ、この武器使用、あくまで限定的なもの。武装組織などから本格的な攻撃を受けた場合はどうするのでしょうか？」

玄葉光一郎氏（衆院議員、野党系無所属）「武力攻撃が仮にあった場合どうなりますか」

河野氏「外部からの武力攻撃に対して、海上警備行動では対処することができません」

玄葉氏「武力攻撃が絶対ないかと言われれば、可能性として排除されないのではないのでしょうか」

河野氏「どこかの国が日本の船舶を特定して攻撃してくることは現時点では想定されない」

ナレーター「不安定化する中東地域、自衛隊が危険に晒されることはないのでしょうか」

VTR を受けて、スタジオでは下記に朱記したやり取りが繰り返し上げられた。

小川キャスター「自衛隊の中東派遣について、田原さんはどのようにご覧になっていますか」

田原総一郎氏（ジャーナリスト）「危険じゃなかったら行く必要ない。危険だからこそ行く。例えば、日本の石油タンカーがどっかの勢力から狙われた。その時、さあ自衛隊どうするんだ、河野さんはそういうことないと言うが、無かったら行く必要ないのだから。要するに危険性があるから行くんだ、(危険が)及んだ時にどうするんだ、(首相や河野防衛相は)答えなきや」

小川キャスター「対処する術がないということですか」

田原氏「いや、(自衛隊は艦船に対して攻撃)すると思う。相手の勢力を攻撃すると思う。(艦船に対する攻撃は)自衛隊法違反だから、現場の指揮者が処分されると思う。日本の安全保障問題って矛盾だらけなんだよ。河野さんがいい加減なことを言っているわけね。要するに、河野さんの本音は、現場で自衛隊法違反をやって、現場の指揮者が処分されればいいと思ってる。」

小川キャスター「(現場の指揮者が)責任を取ればいいと思ってるのですか？」

田原氏「(河野防衛相は)無責任だよな」

小川キャスター「(自衛隊の中東派遣については)来週から始まる国会でも話し合われると思うのですが」

田原氏「野党がもっと追及しろよ、ちゃんと」

小川キャスター「(野党による徹底的な追及を)来週期待したいですけどね」

このトピックに当てられた時間は 278 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 政権支持率→結論：問題なし

スタジオでは下記に朱記したやり取りが繰り返し上げられた。

小川キャスター「さあ、ここからは田原さんに今の日本の政治の現状についてお伺いしてみたいと思うのですが、田原さんは安倍総理に厳しい立場かと思われていますが、実は第二次安倍政権になってから 12 回も総理官邸を訪問されています。よく会われているんですね」

田原氏「言いたいことがある時に言う」

小川キャスター「去年は何回も会われたのですよね」

田原氏「うん、例えばね、一昨年夏安倍さんに会いに行った。なぜかといえば、一昨年トランプ大統領が北朝鮮は悪魔の国、今にも武力行使すると、もしアメリカが武力行使したら北朝鮮は韓国や日本に攻撃してくる、戦場になったらどうするんだ？困るのはわかってる、ではどうするんだ？自民党の幹部も閣僚たちも何をやればいいのかわからないと。つまり、自民党の幹部も閣僚たちもこの国がどうすればいいか、何も考えていないと。安倍さんへのゴマすりしか考えていないんだね。ひどいもんだよね。」

小川キャスター「度々直言されていると」

田原氏「だから安倍さんに言ったのは、もしもアメリカが北朝鮮に武力行使したら、北朝鮮が韓国や日本に戦争を仕掛ける、要するに(日本が)戦場になると、どうするんだ？困る、ではどうすればいいのか？」

小川キャスター「どうすればいいか？って逆に聞かれた？」

田原氏「そう、トランプさんと話ができるのはあなた(=安倍総理)しかいない、だからなるべく早くアメリカ行けと、行ってトランプさんを口説け、口説いてどうするのかと言えば北朝鮮がどういう条件を呑めばテーブルに就くのか、つまり米朝首脳会談、どういう条件を呑めばテーブルに就くのか問えと。で、条件を出したらどうする、直ちに北朝鮮に飛んで金正恩に「アメリカはこういう条件ならテーブルに就くぞ」と言ったらたぶん呑むと思う。呑んだらどうする、直ちに(安倍総理はトランプ大統領に)北朝鮮に行け(と要請すべき)と言ったら、(安倍総理は、そのように直言してくれるのは)田原さんしかいないと(言っていた)。」

小川キャスター「田原さんしかいないと？」

田原氏「そう、誰もいないと」

小川キャスター「いまはそういう状況なのですね。」

田原氏「本当に今の自民党は酷いものでね。内閣も誰もこの件(=北朝鮮情勢について)どうすべきか何も考えていないんだよ」

小川キャスター「何も言えないと？」

田原氏「つまり、安倍総理へのゴマすり事しか考えていない」

小川キャスター「安倍総理ってどういう方ですか？」

田原氏「割と素直な男で、本当に言うこと聞きますよ。みんな安倍さんにゴマすってるから、幹事長が4選が危ういとかさ、財務相も言ってるね、こんなの馬鹿らしい、ゴマすりなんだよね。」

小川キャスター「そのあたりも後程お伺いしていきますが、その安倍政権が長期政権、歴代最長政権となってますが、それを下支えしているのが支持率になりますよね。2018年の10月からの支持率の推移になりますが、ほぼ5割前後をキープし続けているのが支持率なわけで、ただ国内政治を見ても、「桜を見る会」だったり色々不祥事がありますが」

田原氏「「桜を見る会」なんて酷いもので、あんな普通の内閣なら終わりだよ。政府の言ってるのは、「桜を見る会」に招待されるのは皇族とか旧皇族とか或いは大臣とか或いは地方自治体の首長とか或いは政府に大きな貢献した人とか」

小川キャスター「「功績があった方」というルールがあったわけですよね」

田原氏「ところが、第二次安倍内閣でこの招待客がどんどん増えて、去年は1万8200人、しかもその多くが

自民党の有力者の後援会、祝い事とは全く関係ない、どんどん呼んで、しかもその金は税金。どう見たって税金の私物化だよ。」

小川キャスター「そうですね。これを有権者の皆さんはどう思ってるのか、VTR こちらご覧ください」

ここで、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「去年の年末、夕方の新宿駅近くで帰宅途中の人々が足を止めました。「桜を見る会」が追及された国会の予算委員会、大学の教授がその録画を使ったパブリックビューイングを開催していました。寒空のなか、人が人を呼び、開始直後は 20 人程度だった観客がみるみる増えていきます。正面から答えようとしない政府に険しい表情を向ける人、官僚の逃げの答弁に笑いが漏れる場面もありました」

聴衆の 50 代会社員「部分的にニュースで見ることはあるんですけど、しっかり見るとかなりおかしいと思いますよ」

聴衆の 40 代役者「(「桜を見る会」が重要な問題ではないという指摘に対して) 税金使ってるでしょう。税金は私たちが払ってるものですから大事だと思います。」

ナレーター「人だかりができる一方で、多くの人はその場を通り過ぎていきます。少し覗き込み立ち去る人も」

20 代学生「(「桜を見る会」について興味がないのか? という問いに対して) 最近は趣味とかで忙しいので、テレビを見る機会もなくて」

20 代学生「(「桜を見る会」について興味がないのか? という問いに対して) 気にはなるのですが、ちょっと難しいですね」

50 代会社員「多少問題があっても実績を残してくれる方がいいと思う人がいても仕方ないと思いますね。(「桜を見る会」について) そういうふうになってしまう感覚が多少ありますね」

20 代会社員「(国会で「桜を見る会」を取り上げるのは) もういいかな。もっと国の社会問題について話してほしいといつも見ていると思いますね」

スタジオに戻り、下記に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「田原さんのような怒りはあまり覚えていらっしゃらない方もいるのですよね」

田原氏「国民の多くは政治に関心を持っていないんだよ。たとえば隣の韓国では朴槿恵さんの時代に朴槿恵さんが女性のための財団を作っただけで連日 100 万人デモだよ。あれから見れば、森友や加計なんてとんでもない話だよ。(それでも)日本ではデモは起きない」

小川キャスター「関心がないとはどうしてなのでしょう?」

田原氏「要するに、韓国は、アメリカでもイギリスでも(同様であるが)野党と与党があって、野党は与党がだめなら政権握るんだよ。日本は野党は自民党に反対するだけで、政権を取ろうという野心も意欲も持っていない。国民が「安倍は酷い、自民党は良くない」と思っている、代わるどころがない、諦めてるんだよね。」

小川キャスター「だから支持率が下がらないと」

田原氏「だからもっと枝野さんや玉木さんには頑張れよと、しっかりしろよ、こんな時になっても立憲と国民が一緒になるか、まだ迷ってるでしょ、とんでもないと。立憲も国民も共産党も一緒になって自民党に戦えと言ってるんだよね」

小川キャスター「なんで(野党各党は)なかなか結集できないんですか?(野党各党は結集すべきと)ずっと田原さん仰ってますよね」

田原氏「そう、今一つやる気がないんだよね。こういう番組でガンガン野党に頑張れと、枝野さんや共産党の党首を呼んで、何やってるんだお前らとやってよもっと」

小川キャスター「でも結集する動きが出てはこう(萎んでいく)」

田原氏「だからこういう番組に呼んで、ガンガンやってよもっと」

小川キャスター「お話を伺っていくということも必要なかもしれないですけど、(山本キャスターに振る形で) どうですか？」

山本キャスター「ここで振られるとは思っていなかったのですが、私たちの報道もしっかりしていかなければなりませんね」

小川キャスター「そうした中でこの野党の皆さんを見ている中で、この方なら政治に緊張感をもたらしてくれるかもしれないという期待をされる方はいらっしゃいますか？」

田原氏「だから、どうも野党がいま政権奪取の意欲がない、だから山本太郎なんかには人気が行く。れいわ新選組、山本太郎さんは消費税をゼロにすると、(れいわ新選組を除く野党は)10%に反対と言っているだけ、野党は(消費税について)どうするんだという何も考えがない。山本太郎さんが消費税ゼロと言い、その代わりに法人税や収入が多い人の所得税をガーンと上げると、国民は面白いじゃないかと、こういう対案らしいものを彼が初めて言い出したのね」

小川キャスター「具体的な提案があったということですか」

田原氏「うん、今の野党は全く具体的な提案が無いのね、反対してるだけで」

小川キャスター「ただなかなか山本太郎が次政権を取るのはいつになるのかと言うと、なかなかそれは」

田原氏「共産党は山本太郎と組むんだよね。立憲や国民の玉木さんが(れいわ新選組と) 組むかどうかだよ」

小川キャスター「安倍さんの次はどうなるんでしょうね」

田原氏「ここが問題、かつての自民党ならば、かつても野党は弱かった、でも(かつての)自民党には反主流派や非主流派があった。(以前であれば)反主流派や非主流派が、こんな「桜を見る会」の問題、森友や加計の問題(のようなスキャンダルが発生していたら、それを突いて、総理に対して)お前辞めろと(迫っていたのではないか)。だから反主流派、非主流派にやられて、岸(信介)さんや田中角栄、あれ(=田中内閣を退陣に追い込んだ)は福田(起夫)派ね。(反主流派や非主流派からの攻撃を受けて、総理は)辞めざるを得なかった。」

小川キャスター「党内で政権交代が起きていく土壌があったと」

田原氏「いまは自民党の議員、みんななぜか安倍さんにイエスなの、文句言わないの」

小川キャスター「それがずっと長期政権の間に出来上がった構造だと」

田原氏「国民の70%以上が森友・加計は問題だと言ってる。自民党の議員たちも思っていると、(自民党の議員が森友・加計の問題点を理解していないほど)そんなにバカだとは思っていない。誰か一人でも問題だと言うかと」

小川キャスター「それがいないと？」

田原氏「自民党の議員たちが安倍さんのご機嫌取りばかりで、おまけにどうしたらいいのか、何したらいいのかを考えていないじゃないか。こんな無責任な奴を相手にしてもいいのか」

小川キャスター「自民党内も野党も困ったものですね」

田原氏「そう(=自民党も野党も困ったものだと)安倍さんに言ったら、しばらく考え込んで、本当は困ったこと

だと言ったんだよ」

小川キャスター「安倍さんは困ったことだと思っている。思っていらっしゃるということですね。後程時間が許す限り、お伺いしたいと思います」

このトピックに当てられた時間は 715 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・政治とカネ→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「河井議員夫妻の去年の参議院選挙を巡る公職選挙法違反事件で、広島地検は案里氏の秘書から任意で事情聴取をしました。自宅の家宅捜索で押収した資料の分析などを進め、立件の可否について判断すると見られます。」

このトピックに当てられた時間は 21 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・「桜を見る会」をめぐる諸問題→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「「桜を見る会」の名簿の扱いを巡り、内閣府は文書管理の責任者だった現職を含む歴代の人事課長 6 人を厳重注意としました。招待者名簿の管理を巡る違法状態が発覚していたりしました」

このトピックに当てられた時間は 20 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・エネルギー政策→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「山口県の住民が安全対策が不十分などとして、愛媛県の伊方原発 3 号機の運転差し止めの仮処分

の抗告審で、広島高等裁判所は運転差し止めを命じました」

このトピックに当てられた時間は 17 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

・番組構成

本日は星浩キャスターがお休みで、ゲストとして政治ジャーナリストの田原総一郎氏が出演していた。

放送のなかで田原氏は、安倍内閣の周囲で森友・加計問題や「桜を見る会」等のスキャンダルが噴出するなかで与党である自民党内からそれを糾す声が聞こえない現状を問題視する一方で、立憲民主党や国民民主党に代表される野党に対しても政権奪取に向けた野心や意欲が欠如していると苦言を呈していたが、その内容については検証者も概ね同意するところである。

政治記者としての長年にわたる取材経験、そして公私にわたる与野党を超えた幅広い交友関係を通じて培われたと思われる政治的なバランス感覚には感心させられた。

ただ、個別の発言の内容に関し、視聴者に対して誤解を招きかねないものが散見されたので、ここで指摘したい。一例を挙げれば、下掲の発言である。

「うん、今の野党は全く具体的な提案が無いのね、反対してるだけで」

これは、野党提出法案の大半(※第 195 回国会～同 198 回で野党議員のみで提出された法律案 204 本のうち、審議対象となったのは 7 本、割合としては 3.4%)が、未審議のまま葬り去られている状況を見逃している。

この中には、所謂「原発ゼロ法案」のような現状をドラスティックに転換させる可能性を秘めた法案も存在する。

野党議員は具体的な提案をしていないわけではなく、政権与党側が審議を蔑ろにしているというのがより事実に近い、またこのような事実を取り上げず勧善懲悪的な政局報道に明け暮れるマスメディアにも責任の一端があるといえるのではないかな。